

新たな精神病床における基準病床数の算定式は、平成30年度から開始する第7次医療計画と第5期障害福祉計画が連動するように、第5期障害福祉計画の最終年度である平成32年度末の精神病床における入院需要（患者数）との整合性を図る。

現状・課題

- 現行の精神病床の基準病床数の算定式は、「精神保健医療福祉の改革ビジョン（平成16年）」における精神保健医療福祉体系の再編の達成目標である、①平均残存率（1年未満群）24%以下、②退院率（1年以上群）29%以上を前提としていることから、新たな目標値との整合性の図られた算定式へと見直す必要がある。
- この際、平成30年度から開始する医療計画と障害福祉計画が連動するように、第5期障害福祉計画の最終年度である平成32年度末の精神病床における入院需要（患者数）との整合性を図る必要がある。

対応方針（新たな算定式への見直し）

- 平成30年度から開始する医療計画では、精神病床における基準病床数の算定式を以下の通り見直す。

新たな精神病床における基準病床数

$$= (\text{平成32年度末の入院需要（患者数）} + \text{流入入院患者} - \text{流出入院患者}) \div \text{病床利用率}$$

急性期:3ヶ月未満の入院、回復期:3～12ヶ月未満の入院、慢性期:12ヶ月以上の入院

| | | | |
|---------|---------|---------|---------------|
| 平成26年 | 急性期入院需要 | 回復期入院需要 | 慢性期入院（長期入院）需要 |
| 平成32年度末 | 急性期入院需要 | 回復期入院需要 | 慢性期入院（長期入院）需要 |

地域移行に伴う基盤整備量

平成32年度末の入院需要（患者数）

※第7次医療計画の中間年において、第6期障害福祉計画と整合性が図られるように基準病床数を見直す。

千葉県の基準病床数

1 計算式

$$(8,840 + 2,000 - 700) \div 0.95 = 10,674 \text{ 床}$$

↑
平成32年度末の入院需要（患者数）

↑
流入入院患者

↑
流出入院患者

↑
病床利用率

2 参考（平成28年6月30日時点の精神病床数【精神保健福祉資料】）

12,628床